パレットとやま

～サクラマスも増える河川環境を再生し、川本来の姿を取り戻す～
神通川でサクラマス幼魚を放流しました

富山河川国道事務所、富山漁業協同組合、富山県農林水産部水産漁港課、富山県農林水産総合技術センター水産研究所では、９月１３日（火）に、サクラマスが神通川に回帰できることを期待し、平成２４・２５年度に整備した多自然流路において、富山県農林水産総合技術センター水産研究所で育成した「サクラマス幼魚（約 2500 尾）」の放流を行いました。

富山河川国道事務所では、神通川の川本来の姿を取り戻す取り組みの一環として、サクラマスなど多様な動植物が生息・成育・繁殖する基盤となる神通川の瀬・淵等の自然再生に取り組んでいます。

当日は、天候にも恵まれ、関係者など１３名の参加があり、元気なサクラマス幼魚を神通川の西派川で放流しました。

今後も、関係機関と連携し神通川の自然再生に取り組んでいきます。

サクラマス幼魚の放流状況

草の下に隠れるサクラマス幼魚（放流後）

サクラマス幼魚　約 2500 尾（放流前）

サクラマス幼魚（体長約 10 ㎝、体重約 15ｇ）

国土交通省

富山河川国道事務所　調査第一課

〒930-8537　富山市奥田新町２番１号　Tel.076-443-4715（直通）

ホームページ：http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/

Twitter 公式アカウント（@mlit_toyama）でも様々な情報を発信しています！